

長年地方自治の進展や社会福祉の増進に貢献した人に贈られる北海道社会貢献賞を、知内町から四名が受賞しました。

受賞したのは、能代久司さん（元町社会事業功労者）、吉本慶子さん（重内社会事業功労者）、玉森義春さん（重内市町村自治功労者）、橋本政勝さん（上雷森を守り緑に親しむ功労者）の四名です。

また、遠藤芳雄さん（元町）が北海道善行賞を受賞しました。

遠藤さんは76歳。昭和54年から町の交通安全指導員として、交通安全運動期間中の街頭指導や、行事・祭典などでの交通指導を通じて交通安全思想の普及に努めてきました。その功績により、この度の受賞となりました。

遠藤さんは表彰状を手にし、「町の交通安全のため、体が動く限りがんばりたい」と話しています。



玉森義春さんら 北海道社会貢献賞

遠藤芳雄さん 北海道善行賞

知内高校 渡島管内教育実践表彰

知内高校（本間茂裕校長 148名）が、渡島管内教育実践表彰を受賞しました。2月8日、渡島教育局で本間校長と佐藤聖人生徒会長が表彰状を受け取りました。

教育実践表彰は、長年に渡り優れた教育実践活動を行っている学校・団体に贈られるもので、今回で三回目の受賞となります。同校では、教員による朝の呼びかけを通じて遅刻者を減らし、また、習熟度別の授業や教育相談の充実により、一人ひとりにきめ細かな指導を行うことで、中途退学者を減少させました。今回の受賞は、これらの地道な活動が評価されたものです。



鬼さんと仲良くなりました

節分の2月3日、町内の各地で豆まきが行われました。

知内保育園では、園児たちがそれぞれ手作りのお面をかぶって豆まきの歌を歌ったり、保育士の先生と一緒にボールをぶつけて体の中の悪い鬼を退治したりしました。

そこへ赤鬼と青鬼が登場。園児たちは怖がって一目散に逃げました。「いい鬼さんだよ」と先生に促され、みんな恐る恐る近づいていきました。それでもやっぱり怖いらしく、記念撮影では泣き顔でパチリ。

続いて鬼同士のゲーム対決が始まりました。園児も一緒になって綱引きをしたり、かごを背負った鬼を追いかけながら玉入れをしました。

最後はみんな「鬼は外」。鬼が悪い心を持っていてくれました。

